since 1960　No.565

三条金物卸商協同組合

事務局　〒 955-0092　三条市須頃 1-20 三条商工会議所内 5F
tel.（0256）32-7881　fax.（0256）32-7877
E-mail. kumiai@kanamono.gr.jp URL. http://www.kanamono.gr.jp
編　集　三条金物卸商協同組合広報委員会

―三条金物倶楽部―

みんなで築こう三条の輪　そしてはばたけ金物卸

平成27年度通常総会

去る5月29日㈮午後6時より二洲楼にて、平成27年度通常総会が開催されました。総会は中條副理事長の司会で始まり、出席報告では委任状を含む173名の出席との報告がありました。

開会挨拶で、長岡理事長は「理事長に就任して丸一年が経ちました。この一年を振り返ると、作り手とのパイプを太くするために、三条市や商工会議所等で行われたものづくりに関するイベントに積極的に参加してきました。そのおかげで、三条市がどのような方向に進んでいくのか、地元のメーカーがどのようなものをどのように作っているのか、勉強する事ができたと思います。今年はさらに、メーカーに直接足を運び、自分の目で製造現場を見て、自分で感じ、商品の良さを販売店やユーザーに伝えていくことに力を入れたいと考えています。現在、鍛冶集団の人たちにご協力いただき、9社の庖丁工場に足を運び、製造現場を見学し、商品の良さを感じてきました。もちろん、三条は庖丁以外にも鋏や園芸用品などさまざまな工場があり、1つずつ勉強していかなければと思っています。

皆様もぜひこの機会に工場に足を運び、商品を自分の目で確かめて、感じてみて欲しいと思います。また、皆様と一緒に考えていかなければならないこととして、高速道路共同事業の件があります。昨年の夏に割引制度が変わり、現在収入が減ってきている状況です。執行部で調査しながら、どうしたらよいかを皆様と一緒に考えていきたいと思います。今後も皆様のご協力をいただきながら、1年間頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。」と述べられました。

その後、司会の中條副理事長が高森総務委員長を議長に指名し、選出されました。議案審議では、平成26年度事業報告の承認及び決算報告承認について、事務局より報告がありました。事業活動の概況は次の通りです。

『平成26年度の組合は理事長交代に伴い組織を再編し、力強い若手が組合の柱となって活動を行いました。未来創造委員会では、ゴルフ大会や輸入商品安全対策セミナーを開催し、組合員との交流と製品安全に関する知識を深めました。また、燕三条ものづくりメッセや燕三条工場の祭典に参加し、他業界からも好評価を得ました。広報委員会では、活動事業を金物ニュース 三条金物倶楽部にて編集発行するとともに、新たな取り組みとしてホームページに速報版を掲載しました。さらに、健康診断、人間ドックの受診斡旋、休日カレンダーの作成、アルビレックス新潟のホームゲームへの無料ご招待を行いました。

また、本年度も三条市をはじめ地元事業所の協力のもと人材育成事業を実施しました。流通業界の変化に対応するため、オムニチャネルやPL対策セミナー受講とリテールテックJAPAN視察を行い、地場商品の知識を高めるため、地元事業所を訪問し製造現場の見学や職人とのコミュニケーションを図りました。

高速道路共同支払事業、切手印紙販売事業、ダンボール箱共同購入事業、オートリース紹介斡旋事業は、平年並みの状況で推移しましたが、度重なる高速料金の割引率や割引体系の変更により、高速道路共同支払事業の収益は先行き不透明感が否めません。依然として財政事情の改善は厳しい状況が続いていますが、組合員のご理解を得ながら、組合員のための協同組合として、財源の安定化を図るとともに有益な事業を展開し、企業活動に貢献できるよう努めて参ります。組合員各位のご支援ご協力をこれまで以上に賜りますよう、お願い申しあげます。』

引き続き詳細な報告の後、十見監事より監査報告があり、監査結果は相違ないものとしながら、三人の監事より、努力しているが単年度で赤字にならないよう努めて欲しいとの意見が出されたことも付け加えられました。監査報告の後、議案は承認されました。

続いて平成27年度事業計画及び平成27年度収支予算、また平成27年度賦課金の額及びその徴収方法について審議

27年度通常総会

が行われました。長岡理事長は基本方針の中で、「全国的にものづくりの町と認められている私たちの町で、昨年からステップアップする形で直接製造現場へ足を運び、製品のポテンシャルを引き出せるよう知識を付けていきます。そして、作り手の製品に対する思いとともに、実際に道具を使った際の感動や使い勝手の良さを販売店やユーザーに伝えていきたいと思います。それと並行して、「製品安全」をキーワードに消費者が安全・安心して使っていただける製品・道具を作り手と一緒に勉強して情報交換をしていきたいと思います。そして、それらmade in Sanjo製品を国内だけでなく海外にも目を向けて流通していかなければならないと思っています。」と述べられました。その後の平成27年度の事業計画では各員会より説明がありました。引き続き収支予算・賦課金の額及びその徴収方法についても含めて異議なく承認されました。最後に平成27年度借入金残高最高限度額についても承認され、総会は終了しました。総会終了時に、今年度で事務局が交代することが発表され、新旧4人の方よりご挨拶をいただきました。

総会終了後、会場を移して懇親会が開催されました。懇親会は柄澤副理事長の司会で始まりました。開宴挨拶で長岡理事長は「振り返れば昨年度は、作り手とのコミュニケーションをとり、そのパイプを太くするため、ものづくりにかかわるイベントに積極的に参加してきました。先日もご指摘を受けましたが、三条の人間はものづくりの町・三条のよい所に気付いていないように思います。ものづくりの町・三条にいるということを忘れず、積極的にものづくりの現場に足を運び勉強して、作り手と売り手ががっちりとスクラムを組んで、この三条の町が発展していくよう、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。」と述べられました。

続いて三条市長代理 経済部部長 長谷川正実様と三条商工会議所会頭 斎藤弘文様よりご挨拶を頂戴し、協同組合三条工業会専務理事 飯塚修一様の音頭で乾杯しました。

懇親会では、中條副理事長と未来創造委員会の山谷副委員長より、先日行われた9社の庖丁工場を取材した時の様子が発表されました。その際撮影した動画を見ながら、その時の模様を説明されました。

その後、三条木工組合会長 関川修司様より中締めのご挨拶を頂戴し、最後は中條副理事長より閉宴挨拶で懇親会が終了しました。

懇親会の長岡理事長

長谷川部長

斎藤会頭

飯塚専務

中締め関川会長

懇親会の様子

26年度人材育成事業

若手営業マンのスキルアップを目指して検討されてきた26年度の「人材育成事業」。その柱は製品安全と地元製品の理解です。

その検討会議から、実践としての製品安全に関するセミナー２件とメーカーとのパイプづくりも兼ねて行われた９件の事業訪問の一部をまとめてみました。

■広報・未来創造委員会 合同委員会

去る2月13日㈮午後7時より春秋まるいにて、広報委員会と未来創造委員会の合同委員会が開催されました。参加者は19名でした。

小林 孝夫氏

今回の会議の主題は三条市からの補助金事業である人材育成事業の概要を決めるもので、アドバイザーに㈲県央総合保険事務所の小林孝夫氏を迎えて話し合いが進められました。

小林氏は概要の説明で、「最近の営業マンはメーカー（鍛冶屋の現場）に足を運ばなくなった。製品知識が不足しているために品質や特長を説明できない。そして対他産地のみならず、ともすれば三条同士で価格競争に走っている。この現状を打破しなければならない。その為には製品の特長や違いを知ることが大事である。まずは組合員でメーカー（鍛冶屋の現場）に足を運んで取材をして、取材した結果を組合員のためのデータベース化していきたい。そのデータベースには製品の種類や使い方だけでなく個々の製品毎の違い・特長を加えることで販売ツールとして活用していきたい。さらに製品の安全情報や取り扱い説明書にまで仕上げることによって大手流通で始まった第3次流通革命と呼ばれるオムニチャネルにも生き残れるツールとなり得る。」とその成果が広大になることを強調されました。

その基礎となる雛形をこの両委員会から作ろうというもので、まずは庖丁の取材、資料作成から始めることになりました。

この事業はデータベースの作成を軌道に乗せ、組合員が活用できるようにすることが目的ですが、理事長は挨拶の中で「データベースという形で結果は出るが、それ以上に大事なのは取材を通じて製販のパイプを強くすることであり、地場を盛り上げることだ。そして最大の成果は取材する若手営業マンの力となることだ」とこの事業の必要性を強調されました。取材班の割り振り等は中條副理事長に一任することで会議は終了しました。

会議後は、アドバイザーを囲んでの懇談会へと進みました。

広報･未来創造委員会 合同委員会

■JTDNA製品安全（PL）セミナー

去る2月26日㈭東京都板橋区のグリーンホールにてJTDNA製品安全（PL）セミナーの講演がありました。このセミナーは今後の『流通業界』の変化を体感していく為の組合企画で、展示会視察と2週に分けている内の1週目のセミナー受講です。

セミナー前半では講師のPL研究学会理事･渡辺欣洋氏よりレジメを基に説明が進みました。また、途中からは県央総合保険事務所の小林孝夫氏も演壇に立たれ、秋葉原事件でのナイフを例にあげ、PL法の説明を述べられました。

後半では、株式会社ベルーナの染谷知孝氏が、「取扱説明書」について述べられました。染谷氏は自分の体験を基に、実際に起こった事例などをあげ、取扱説明書の効果の違いなどを説明されました。また、「取扱説明書は今後、スマホやQRコードを利用する物へと、どんどん変わっていくだろう。」といった興味深い話を色々と聞くことができました。

JTDNA製品安全（PL）セミナー

■「リテールテックジャパン2015」と セミナー「GS1QRコードを利用したリコール対策」

東京ビッグサイトで、3月3日㈫～6日㈮の4日間に渡り、「リテールテックジャパン2015」が開催されました。これは、『JTDNA製品安全（PL）セミナー』に続く組合企画で流通にかかわるシステムや周辺機器等の総合展示会で、同時開催展として「建築・建材展」や「JAPAN　SHOP」なども開催されていました。

この「リテールテックジャパン2015」において、3月5日㈭に「GS1QRコードを利用したリコール対策」というセミナーが開催されており、そのセミナーを受講しました。2月26日㈭に開催された「JTDNA製品安全（PL）セミナー」とも関連した内容となっており、講師はJTDNA理事長の渡辺吉明氏でした。

製品安全に対する取り組みとしてリコール問題から始まりました。リコールは100%回収まで完了する事ができません。例えば、リコール対象となった加湿器が、回収を呼び掛けても回収率が60%程度しか戻って来ないとします。その後、未回収だった加湿器から火事が発生した場合も、責任を問われる恐れがあるということです。なお、製品に寿命がある場合は、それを正しくユーザーに伝えなくてはならず、怠ると民事責任とは別に長期にわたる責任が生じます。

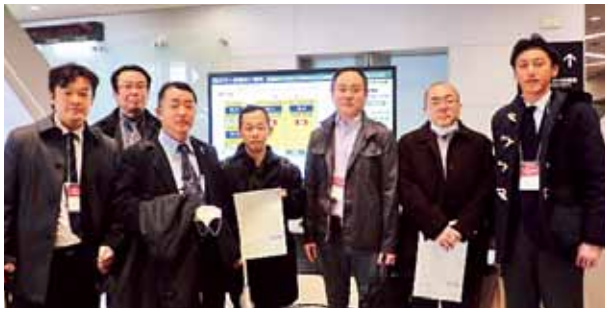
この回収率をどのようにすれば上げられるかがポイントです。何らかの方法でユーザーのトレーサビリティ(追跡)ができるならば、回収率は上がるものと思われます。ただし現状は、ごく一部でしかトレーサビリティは使えないと思われます。そこでご紹介したい手段が、「GS1QRコードを利用したリコール対策」です。

「GS1QRコード」とは、「GTIN」と呼ばれる世界共通の商品コードにURLアドレスを加えた、モバイル用の2次元シンボルです。「GTIN」で国・企業・商品を特定し、モバイルアプリの利用やURLにアクセスすることでこの商品の様々な情報を得ることができます。この情報の中に取扱説明書を入れ込めば、紙の取説がなくなった際にもすぐに取得できるので便利です。もちろん、リコール対象になった場合も「GS1QRコード」を通してつかむことができます。

リテールテックジャパン2015

実際には購入者だけが使うのではなく、プレゼントなど購入者とユーザーが必ずしも一致しない場合は起こりえます。また、リサイクルショップ等の中古市場の存在もあり、単純なトレーサビリティでは難しくなるでしょう。その点からも、ユーザーから情報が簡単に取得できるシステムとして、「GS1QRコード」は大変有効だと思われます。今後、取扱説明書にこの「GS1QRコード」を使用したものが主流になっていくかもしれません。

セミナー終了後は「リテールテックジャパン2015」を視察しました。特に印象に残ったのは「建築・建材展」で、いろいろな素材があり、とても興味深かったです。


セミナー会場

■事業所訪問

去る3月3日㈫「事業所訪問とマップ作成」として株式会社タダフサへ訪問しました。

この日は5つの班に分けた各班長と正副理事長ならびにアドバイザーの小林孝夫氏とでの訪問となりました。

当日は、株式会社タダフサの曽根社長から案内して頂きました。はじめに各種包丁製品について説明して頂いた後、工場内の工程や作業などを30分程見学しました。工場見学を終えると、場所を移して意見交換会を行いました。

意見交換会では曽根社長の視点からみた地元・下請工場などの現状の話や、実際どのようにしたらユーザーさんに製品の良さがわかってもらえるかなど、色々とお話いただき、改めて造る側と売る側とのコミュニケーションの重要さを感じました。

曽根社長からも「地元の将来を見据え、三条金物卸商協同組合と協力をして製販関係を良くしていく事は重要な事だと思います」とお話いただき、この日の事業所訪問は終了しました。

他にも8件のメーカーを訪問をして地場製品の特性・特徴や性能・性質・使い方等の商品知識を習得しました。

訪問先は次の通りです。

石川製作所（3月25日）、河村包丁製作所（3月27日）、
桐生工業株式会社（3月27日）、義平刃物（3月28日）、
吉金刃物製作所（3月31日）、日野浦刃物（3月31日）、
株式会社 山村製作所（3月31日）、重房刃物（4月8日）

（敬称略）

株式会社タダフサ

義平刃物

吉金刃物製作所

重房刃物

製品安全セミナー

～安全･安心な取組により売上アップ～

去る 1 月23日㈮午後6時より商工会議所において商工会議所金物卸部会主催、三条金物卸商㈿共催、日本鍛冶学会後援により製品安全セミナーが開催されました。

安全対策セミナー

班 太郎氏

最初に金物部会部会長でもある長岡理事長は開会の挨拶で「三条の流通事業者として、製品を安心してお客様の元へ届けられるよう、製品安全の意義について学んでもらいたい」と述べられ、製品安全に取り組む必要性を説いた後にセミナーへ入りました。

第1部として経済産業省の商務流通保安グループ製品安全課の班太郎総括係長より「製品安全の潮流と事業者に求められる役割」というテーマのもと、行政の立場として今までの製品安全の流れについてお話をされました。特に最近、消費者は安全性に配慮した商品を求める傾向があり、付加価値として安全性をアピールすることを推し進めるなど制度面の体系からも説明をされました。

引き続き第2部として㈱インターリスク総研、事業リスクマネジメント部の佐藤崇主任コンサルタントより「今、なぜ製品安全が必要なのか～製造･流通事業者のなすべき手は～」というテーマで、損保会社のグループ会社のリスクマネジメントの立場としてお話をして頂きました。「危険とは社会が許容できないリスク、ゼロにはできないけれども、より安全な製品を選ぶ見極める力が要求される」など、様々なリスクを想定して対応する話が実例を挙げて説明されました。

佐藤 崇氏

両氏ともにレジメを基に詳しいお話をして頂き、質疑応答の時間もほとんど取れないまま予定の2時間を軽くオーバーしてしまい、セミナーは終了いたしました。

なおセミナー終了後、会場を移して2人の講師を囲んで懇談会も行われました。

三条金物卸商協同組合 新事務局紹介

商工会議所の組合担当の事務局が交代しました。
新しい顔ぶれの方よりご挨拶いただきました。

【中川　恵一郎】
本年度から担当させていただきます中川です。
色々な業界団体の担当をさせていただきましたが、何故か今まで金物卸業界の担当をしたことがございませんでした。自分自身も勉強をしつつ、組合員皆様方へのご協力をさせていただければと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

【内山　睦代】
異動により、本年度事務局担当となりました内山です。古き良き時代に組合を担当しておりました。時代とともに組合を取り巻く環境は厳しくなっておりますが、組合員皆様のため初心に帰って業務に取り組みたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

(前列) 左：梅田　右：小柳誠
(後列) 左：小柳　中：内山　右：中川

【小柳㈠やなぎ㈡　誠】
本年度より、事務局を担当させていただくことになりました。小柳誠です。
新入職員ということもあり、慣れないことばかりですが、皆様のお力になれるよう誠心誠意業務に携わって参りたいと思います。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

旅くら TABI KURA
国内最大級の宿泊プラン横断検索
さがして、くらべて旅に出よう
宿泊プラン比較サイト「旅くら」
絶賛稼働中！
三条金物卸商協同組合HP http://www.kanamono.gr.jp

お知らせ

広報委員会では「金物卸商協同組合ホームページ」の会員向け情報や、組合事業･セミナー等の「ニュース速報」を更新の度に随時メールで通知をする事となりました。
ホームページ更新情報のメールでの通知を希望される方は、組合事務局のアドレスまでご連絡下さい。
（すでに組合へアドレス登録されてる方は不要です）
組合事務局アドレス:kumiai@kanamono.gr.jp

平成 27 年度 第 1 号会務報告

開催日	会　　議	内　　容	出席者
2/10(火)	理事会	1. 組合員退会について 2. 委員の推薦について 3. 三条市負担金を活用した人材育成事業について 4. その他	15 名
2/13(金)	未来創造委員会 伝承・外部合同会議	1. 平成 27 年度事業計画・予算について 2. その他	14 名
	広報・未来創造合同委員会	1. 人材育成事業の概要と活動について 2. 各委員会の情報・意見交換 3. その他	18 名
3/12(木)	広報委員会	1. 次年度の活動について 2. 金物ニュースについて 3. その他	7名
4/6(月)	正副理事長打合せ会議	1. 組合員退会について 2. 共催、後援の依頼について 3. 平成 27 年度事業計画・収支予算(案)策定について 4. 通常総会について 5. その他	3 名
4/22(木)	総務委員会 11:00 ～ 理事会　12:00 ～	1. 組合員退会について 2. 共催、後援の依頼について 3. 平成 27 年度事業計画・収支予算(案)策定について 4. 通常総会について 5. その他	14 名
5/14(木)	監事会　12:00 ～	1. 平成 26 年度会計監査について	5 名
	人材育成事業	1. 事業所訪問について	8 名
5/19(火)	広報委員会	1. 金物ニュースについて 2. ホームページについて 3. その他	4 名
5/20(木)	未来創造委員会 伝承交流グループ	1. ゴルフ大会について 2. セミナーについて 3. その他	8 名
5/29(金)	平成 27 年度通常総会	第 1 号議案 平成 26 年度事業報告承認について 第 2 号議案 平成 26 年度収支決算報告承認について 第 3 号議案 平成 27 年度事業計画(案)について 第 4 号議案 平成 27 年度収支予算(案)について 第 5 号議案 平成 27 年度賦課金の額及びその徴収方法について 第 6 号議案 平成 27 年度借入金残高最高限度額について 第 7 号議案 その他	本人出席 40 名 委任状出席 133 名
【その他】 1/5(月)	ジオ・ワールドビップ	第 40 回パール会新年宴会	
1/21(木)	餞心亭おゝ乃	協同組合三条工業会新年会	
1/22(木)	三条ロイヤルホテル	越後三条鍛冶集団新年会及びポーラ文化賞受賞祝賀会	
1/30(金)	魚長	三条木工組合新年会	
2/17(火)	三条鍛冶道場	伝統的工芸品越後三条打刃物検査委員会	
2/20(金)	燕三条地場産業振興センター	(一財) 燕三条地場産業振興センター理事会	
		全国産業観光フォーラム in 燕三条実行委員会準備会	
4/16(木)	新潟県中小企業団体中央会	監査会	
5/8(金)	越後三条鍛冶集団	平成 27 年度通常総会	

共同事業利用実績

【高速道路共同支払事業】　※（　　）内は前年

東日本高速道路㈱	利　用　額	組合員割引額	組　合　分	カード 1 枚平均
1 月分 49 件 (48 件)	8,943,583 (7,015,283)	1,682,060 (970,969)	0 (162,040)	26,989 (27,352)
3 社高速道路㈱ 1 月分合計	**首都高速道路㈱**	**阪神高速道路㈱**	**本州四国連絡 高速道路㈱**	**オリックスカード 利　用　額**
首都・阪神・本州 合計	256,590 (32 件) (266,600 (32 件))	144,630 (14 件) (86,000 (11 件))	82,820 (8 件) (80,705 (8 件))	7,654,288 (83 件) (6457,335 (86 件))
¥484,040 (¥433,305)				

		切手・印紙	西山カートン	セッツカートン
1 月分	利用額	1,864,753 (2,557,540)	277,733 (259,719)	12,420 (12,285)
	手数料	56,903 (61,392)	15,430 (14,841)	690 (702)

東日本高速道路㈱	利　用　額	組合員割引額	組　合　分	カード 1 枚平均
2 月分 50 件 (48 件)	8,675,391 (6,741,766)	1,613,657 (767,292)	0 (0)	26,431 (25,997)
3 社高速道路㈱ 2 月分合計	**首都高速道路㈱**	**阪神高速道路㈱**	**本州四国連絡 高速道路㈱**	**オリックスカード 利　用　額**
首都・阪神・本州 合計	302,530 (36 件) (250,300 (32 件))	139,800 (12 件) (120,000 (13 件))	135,980 (8 件) (103,550 (5 件))	8,274,400 (81 件) (6,360,380 (86 件))
¥578,310 (¥473,850)				

		切手・印紙	西山カートン	セッツカートン
2 月分	利用額	1,605,400 (1,892,977)	282,149 (287,125)	12,420 (12,075)
	手数料	55,222 (55,500)	15,675 (16,407)	690 (690)

東日本高速道路㈱	利　用　額	組合員割引額	組　合　分	カード 1 枚平均
3 月分 50 件 (48 件)	9,900,295 (7,492,342)	2,258,415 (1,051,063)	363,411 (172,009)	30,286 (28,671)
3 社高速道路㈱ 3 月分合計	**首都高速道路㈱**	**阪神高速道路㈱**	**本州四国連絡 高速道路㈱**	**オリックスカード 利　用　額**
首都・阪神・本州 合計	346,710 (34 件) (277,700 (34 件))	172,930 (14 件) (122,650 (13 件))	87,160 (7 件) (96,845 (10 件))	9,852,820 (82 件) (7,452,585 (88 件))
¥606,800 (¥497,195)				

		切手・印紙	西山カートン	セッツカートン
3 月分	利用額	2,403,022 (1,896,770)	304,982 (353,317)	28,620 (44,100)
	手数料	60,391 (55,524)	16,943 (20,189)	1,590 (2,520)

東日本高速道路㈱	利　用　額	組合員割引額	組　合　分	カード 1 枚平均
4 月分 50 件 (48 件)	9,734,109 (10,403,068)	1,835,736 (3,270,003)	0 (481,742)	29,003 (40,147)
3 社高速道路㈱ 4 月分合計	**首都高速道路㈱**	**阪神高速道路㈱**	**本州四国連絡 高速道路㈱**	**オリックスカード 利　用　額**
首都・阪神・本州 合計	378,590 (33 件) (336,470 (31 件))	168,330 (16 件) (170,980 (15 件))	116,070 (9 件) (74,550 (10 件))	9,301,446 (82 件) (9,548,400 (87 件))
¥662,990 (¥582,000)				

		切手・印紙	西山カートン	セッツカートン
4 月分	利用額	2,137,257 (2,557,540)	294,116 (284,192)	12,420 (20,736)
	手数料	58,669 (61,392)	16,340 (15,788)	690 (1,152)